



コラボフロー

ColdFusion 2018 バージョンアップガイド

対象バージョン: ColdFusion 2016、2018
およびコラボフロー 2.9.3 以降

株式会社コラボスタイル

商標について

記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。また、当社製品には他社の著作物がふくまれている場合があります、この仕様については予告なく変更される場合がございます。

詳細については、弊社の Web サイトを参照してください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/205716729>

著作について

本書のいかなる部分も、明示的な事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写、記録それ以外を含むいかなる手段においても、購入者の個人目的以外に複製、転写、転用する事はできません。

目次

1. 本書の目的	5
2. はじめに	5
2.1. 対象サーバー	5
2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント	5
2.3. バージョンアップに必要な情報	5
2.4. ColdFusion 2018 のライセンス取得について	6
2.5. ColdFusion の設定資料を用意する	6
資料1: 設定要約の PDF ファイル	6
資料2: JVM パラメーター	6
2.6. 作業時間の目安	7
2.7. 注意事項	7
3. バージョンアップ前作業	8
3.1. 信頼済みサイトの追加	8
3.2. ColdFusion 2016 のサービスを停止	8
3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ	9
3.4. Web サーバーコネクタの削除	10
4. ColdFusion 2018 のインストール	12
4.1. インストーラの起動	12
4.2. インストール前のチェック	13
4.3. はじめに	13
4.4. エンドユーザー使用許諾契約	14
4.5. インストールタイプ	14
4.6. インストーラ設定	15
4.7. ColdFusion サーバプロファイルを選択	15
4.8. サブコンポーネントのインストール	16
4.9. サーブレットの有効化または無効化	16
4.10. インストールディレクトリの選択	17
4.11. 内蔵 Web サーバーポート番号	17
4.12. Performance Monitoring Toolset	18
4.13. 管理者の資格情報	18
4.14. サーバーアップデート	19
4.15. プリインストールの要約	20
4.16. インストール進行	20
4.17. インストール完了	21
5. 設定の移行	22
5.1. 移行ウィザード URL を信頼済みサイトに追加 (Internet Explorer の場合のみ)	22

5.2. ログイン	23
5.3. サーバーの設定	23
5.4. 移行ウィザード開始の確認	24
5.5. エクスポート設定	24
5.6. インポート設定	25
5.7. 移行ウィザード完了	25
5.8. 追加の手動設定	27
サーバーの設定 > 設定	27
サーバーの設定 > メール	28
サーバーの設定 > Java と JVM	28
セキュリティ > セキュアプロファイル	29
5.9. カスタムタグの移行確認	30
6. ColdFusion 脆弱性対策の確認	31
7. ColdFusion 2018 のアップデート	32
7.1. サーバー更新画面の表示	32
7.2. ColdFusion のアップデート	33
7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認	34
8. ColdFusion と Web サーバーの接続設定	36
8.1. Web サーバー設定ツールの起動	36
8.2. Web サーバー設定の追加	37
8.3. Web サーバー設定の終了	38
8.4. コラボフローへのアクセス確認	38
9. ColdFusion 2016 の削除	39
9.1. ColdFusion 2018 サービスの停止	39
9.2. ColdFusion 2016 一時フォルダの削除	40
9.3. プログラムのアンインストール	40
9.4. ColdFusion 2016 のアンインストール	41
9.5. アンインストール完了の確認	43
9.6. ColdFusion 2016 フォルダの削除	44
9.7. ColdFusion 2018 サービスの起動	44
9.8. コラボフローへのアクセス確認	45
10. トラブルシューティング	46
10.1. ColdFusion のアップデートがオンラインで実行できない場合	46
10.2. プロキシサーバーを経由する必要がある場合	47
10.3. ColdFusion 2018 インストール後からコラボフローが表示されない	47

1. 本書の目的

本書はコラボフローが稼働している環境で「ColdFusion 2016」から「ColdFusion 2018」にバージョンアップを行う手順について説明します。

2. はじめに

本書に記載されている環境は以下の通りです。

- ・ OS: Windows Server 2016 日本語版
- ・ Web サーバー: IIS 10
- ・ ColdFusion: ColdFusion 2016 日本語版
インストール先は「C:\ColdFusion2016」を前提として説明します。変更されている場合は読み替えてください。

2.1. 対象サーバー

対象サーバーは、コラボフロー 2.9.3 以降がインストールされている Web サーバーです。

2.2. バージョンアップ作業を行う際のユーザー アカウント

対象サーバーの管理者権限を有するユーザーアカウント (Administrator ユーザーなど) が必要です。

2.3. バージョンアップに必要な情報

ColdFusion のバージョンアップには以下のファイルと情報が必要です。

項目	説明
ColdFusion バージョンアップガイド	本書です。
ColdFusion_2018_WWEJ_win64.exe	ColdFusion 2018 のインストールファイルです。
ColdFusion 2018 ライセンス情報	ColdFusion 2018 のシリアル番号が必要です。 詳細は「ColdFusion 2018 ライセンス取得について」を参照ください。
現行の設定資料	ColdFusion 2016 の設定要約と JVM パラメーター 詳細は「設定資料を用意」を参照ください。
インターネット接続環境	ColdFusion のセキュリティ更新時に必要です。

2.4. ColdFusion 2018 のライセンス取得について

ColdFusion 2016 を購入されている場合は、ColdFusion 2018 ライセンスの取得権を有している場合があります。Adobe 社が提供している以下のサイトにログインをご確認ください。

<https://licensing.adobe.com/>

ログイン ID はコラボフローご購入時に提出いただいた「コラボフローお客様情報登録シート」に記載された担当者のメールアドレスとなります。

一度もログインした事が無い場合はログイン画面右下の「パスワードを忘れた場合」リンクからパスワードを設定ください。

ライセンスが取得できない・担当が変わったなどライセンス状況が、ご不明な場合は購入先までお問合せください。

2.5. ColdFusion の設定資料を用意する

ColdFusion 2016 をセットアップした時の設定シートやパラメーター表等の資料があればご準備ください。これらの資料は手動で再設定する項目やトラブル時に参照します。

設定資料は、以下の手順で取得可能です。

資料1: 設定要約の PDF ファイル

- ① 以下のアドレスを開いて、ColdFusion の管理画面にログインします。
<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>
- ② サーバーの設定 > 設定要約を表示します。
- ③ 「PDF として保存」ボタンをクリックして、ダウンロードされたファイルを保存します。

資料2: JVM パラメーター

- ① サーバーの設定 > Java と JVM を表示します。
- ② 以下の 3 項目についてメモ帳などにコピーし、保存します。
 - 最小 JVM ヒープサイズ
 - 最大 JVM ヒープサイズ
 - JVM 引数 (とても長いので注意)

2.6. 作業時間の目安

各作業の大まかな所要時間を掲載します。
ご利用状況や環境により前後しますので目安として参照ください。

作業	所要時間
バージョンアップ前作業	20 分
ColdFusion 2018 のインストール	15 分
ColdFusion の設定移行	20 分
ColdFusion 2018 アップデート	10 分
ColdFusion と Web サーバーの接続設定	10 分
ColdFusion 2016 の削除	15 分
合計	90 分

2.7. 注意事項

コラボフロー 2.9.3 かそれ以降のバージョンが必要です。

コラボフロー 2.9.0 以前では ColdFusion 2018 に対応していませんので、先にコラボフローのバージョンアップを実施ください。手順については「コラボフロー アップデートガイド」を参照ください。

バージョンアップ作業中はコラボフローを長時間利用できない状態となります。
必要に応じて社内告知を検討ください。

3. バージョンアップ前作業

信頼済みサイトの追加作業、ColdFusion のバージョンアップで競合が起きないようにサービスを変更します。
また、ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

3.1. 信頼済みサイトの追加

信頼済みサイトに ColdFusion の移行ウィザードで利用されるサイトを追加します。

- ① スタートボタンをクリックします。
- ② 「Windows アクセサリ」を展開し、「Internet Explorer」を選択します。
- ③ 「ツール」ボタン(歯車アイコン)をクリックし、「インターネット オプション」を選択します。
- ④ セキュリティタブを開きます。
- ⑤ 「信頼済みサイト」アイコンを選択し、「サイト」ボタンをクリックします。
- ⑥ この Web サイトをゾーンに追加する欄に以下を入力します。
http://127.0.0.1
- ⑦ 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」のチェックを外します。
- ⑧ 「追加」ボタンをクリックします。
- ⑨ 「閉じる」ボタンをクリックします。

3.2. ColdFusion 2016 のサービスを停止

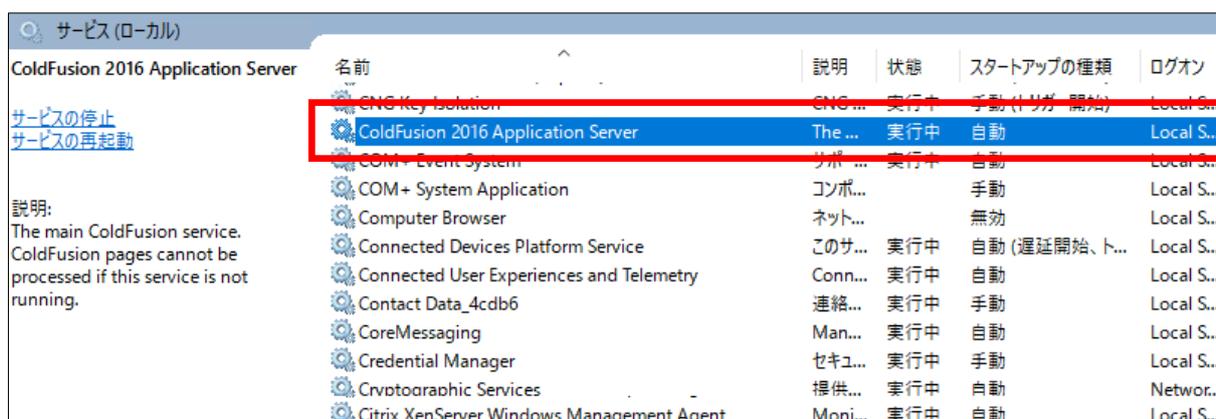
サービスを開く

以下のいずれかの方法でサービスの一覧を開きます。

- ・サーバーマネージャーを起動し、ツール>サービスを選択します。

または

- ・コントロールパネルを開き、システムとセキュリティ>管理ツール>サービスをクリックします。



名前	説明	状態	スタートアップの種類	ログオン
ColdFusion 2016 Application Server	The ...	実行中	自動	Local S...
COM+ Event System	サポ...	実行中	自動	Local S...
COM+ System Application	コンボ...		手動	Local S...
Computer Browser	ネット...		無効	Local S...
Connected Devices Platform Service	このサ...	実行中	自動 (遅延開始、ト...	Local S...
Connected User Experiences and Telemetry	Conn...	実行中	自動	Local S...
Contact Data_4cdb6	連絡...	実行中	手動	Local S...
CoreMessaging	Man...	実行中	自動	Local S...
Credential Manager	セキユ...	実行中	手動	Local S...
Crvtoaraohic Services	提供...	実行中	自動	Networ...
Citrix XenServer Windows Management Agent	Moni...	実行中	自動	Local S...

赤枠で囲った「ColdFusion 2016」から始まる各サービスが変更対象です。

サービスのプロパティを変更する

「ColdFusion 2016 Application Server」を右クリック>プロパティを選択します。



- ① 「停止」ボタンをクリックし、サービス状態が停止になるまで待ちます。
- ② スタートアップの種類を「手動」に変更します。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

3.3. ColdFusion 設定ファイルのバックアップ

ColdFusion の設定ファイルをバックアップします。

- ① 任意にバックアップ取得用フォルダを作成します。
作成例:【 D:¥Backup¥ColdFusion2016¥20190530 】

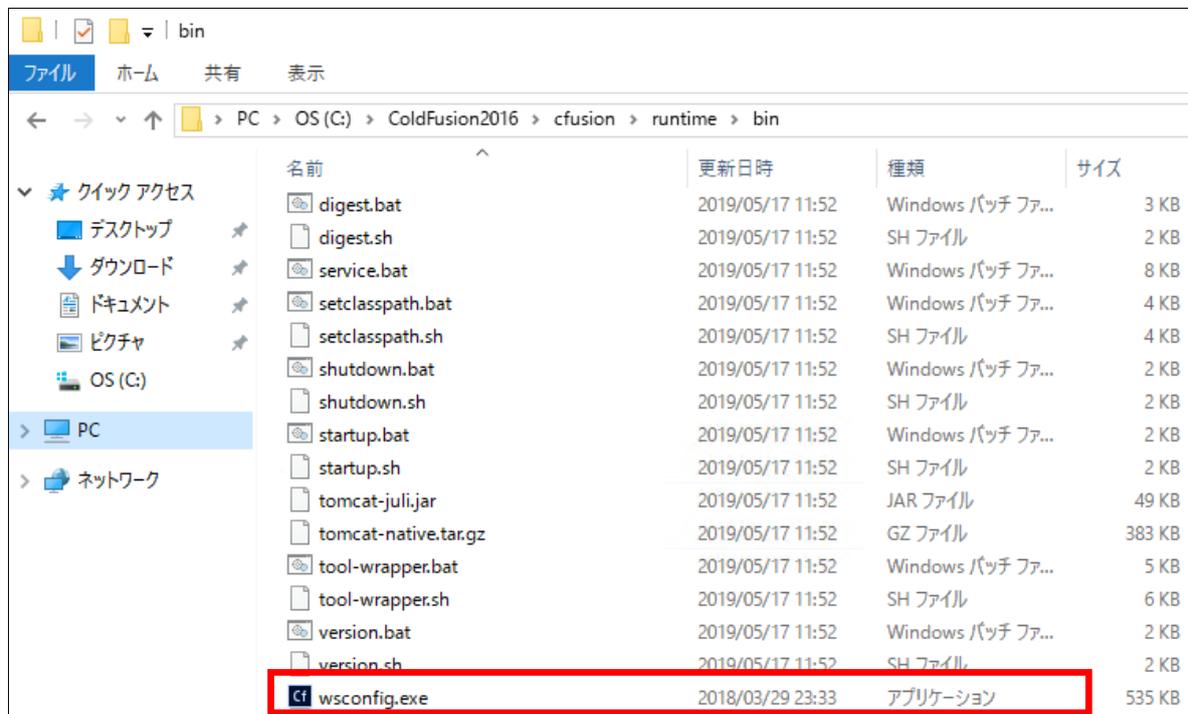
※「20190530」には、作業日を指定し、いつバックアップを行ったかをわかるようにします。
2019 年 5 月 30 日に実施した場合 ⇒ 20190530

- ② 以下のフォルダとファイルを作成したフォルダにコピーします。
C:¥ColdFusion2016¥cfusion¥lib フォルダ
C:¥ColdFusion2016¥cfusion¥bin¥jvm.config ファイル

3.4. Web サーバーコネクタの削除

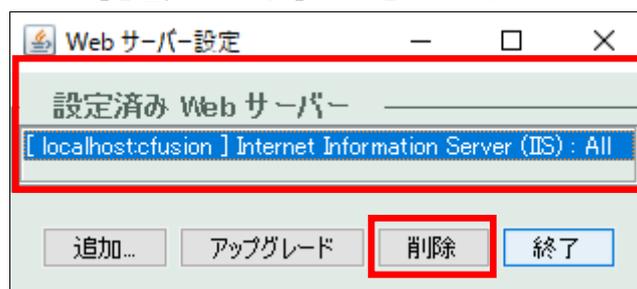
Web サーバー設定の起動

C:\ColdFusion2016\cfusion\runtime\bin フォルダを開き「wsconfig.exe」をダブルクリックします。



コネクタの削除

「Internet Information Server (IIS): All」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



「いいえ」ボタンをクリックします。(バックアップ不要です)



他に設定がある場合は同様に削除します。

以下のように全ての設定が空になれば、「終了」ボタンをクリックして閉じます。

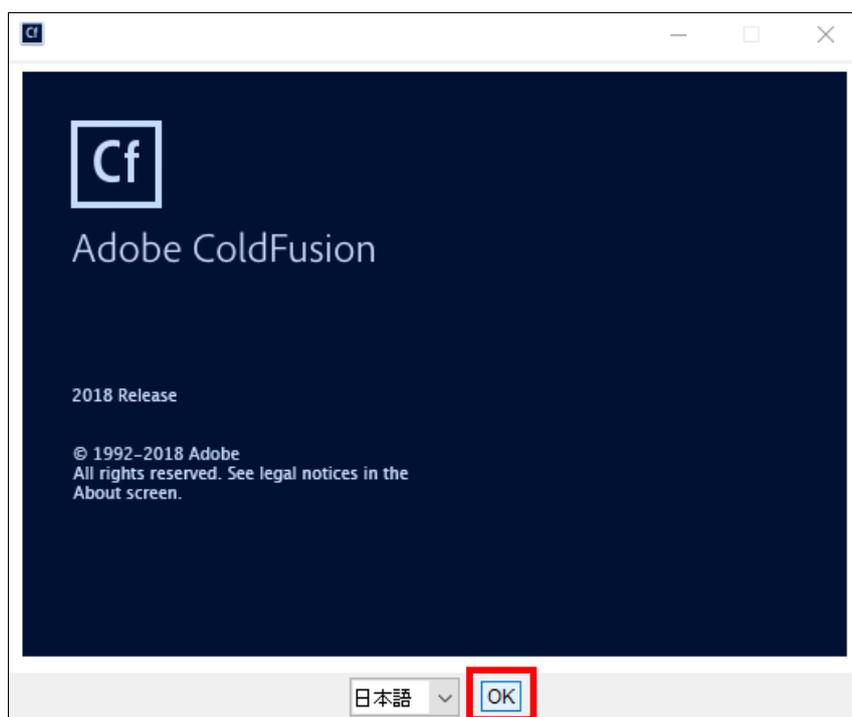
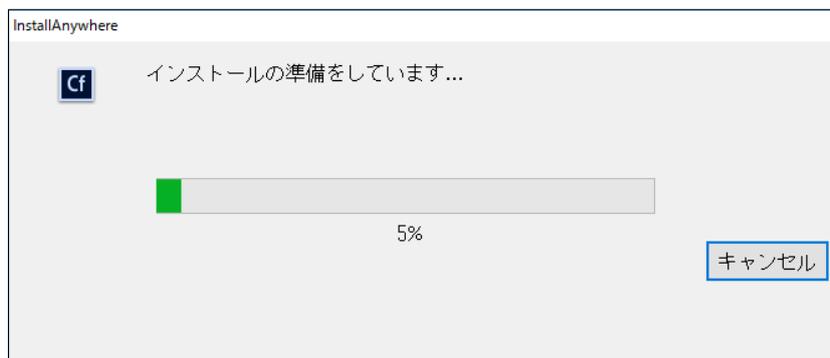


4. ColdFusion 2018 のインストール

ColdFusion のバージョンアップ手順をご説明します。

4.1. インストーラの起動

ColdFusion 2018 のインストーラ、「ColdFusion_2018_WWEJ_win64.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動します。インストールの準備画面表示後、言語選択の画面が表示されますので「日本語」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



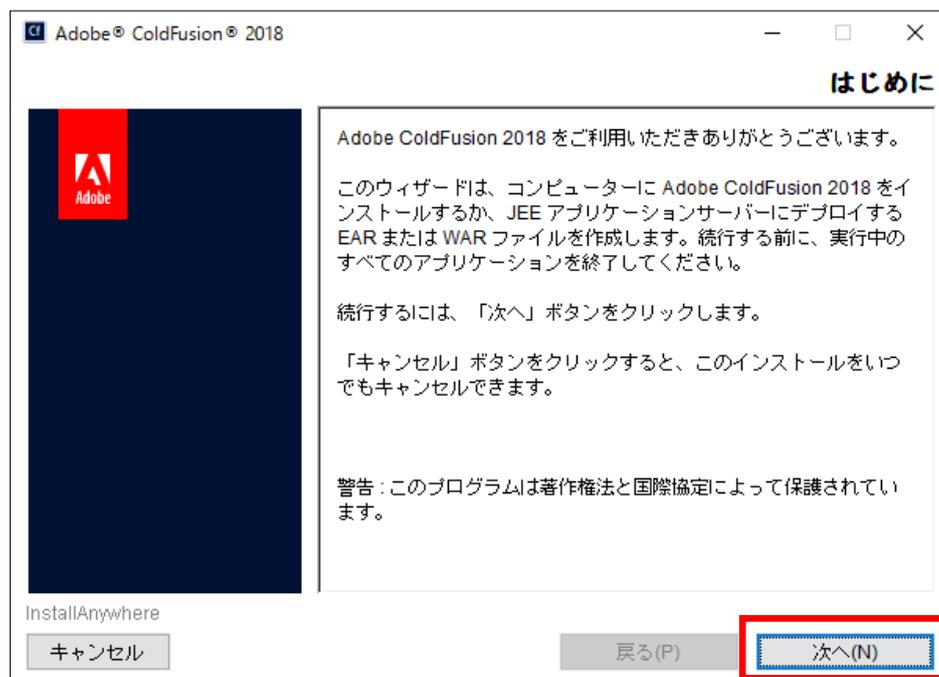
4.2. インストール前のチェック

インストール前のチェックが実行されます。



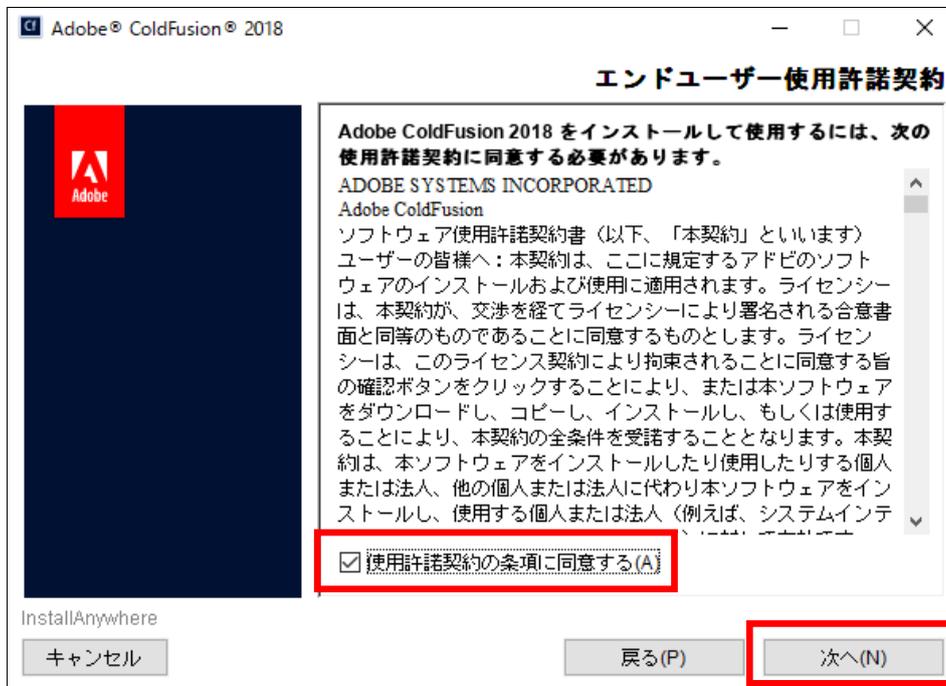
4.3. はじめに

インストールの確認画面が表示されるので、内容を確認して「次へ」ボタンをクリックします。



4.4. エンドユーザー使用許諾契約

ライセンス契約の同意画面が表示されたら内容を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意する」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



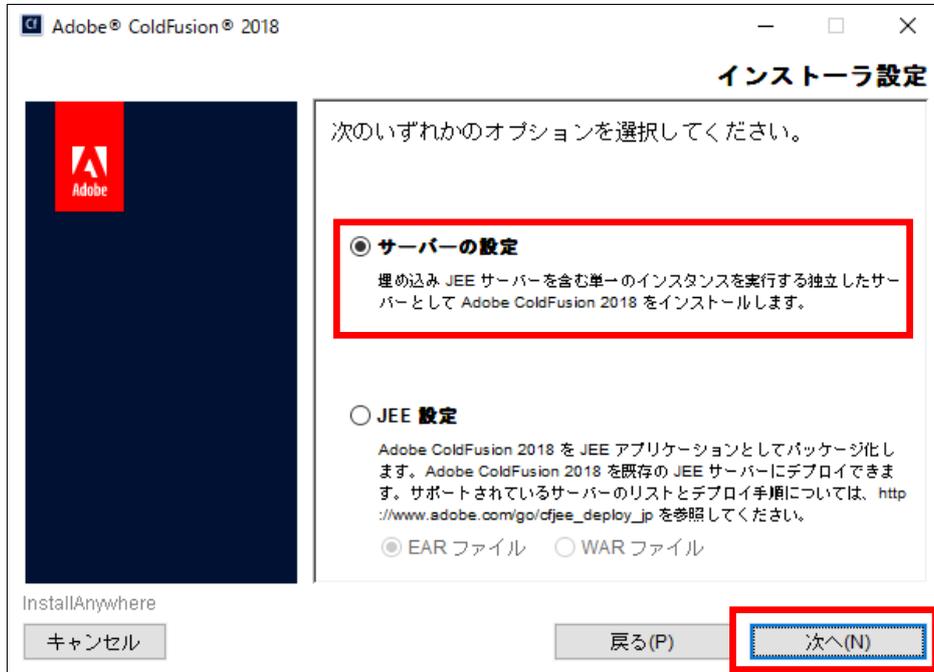
4.5. インストールタイプ

ColdFusion 2018 のシリアル番号を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。



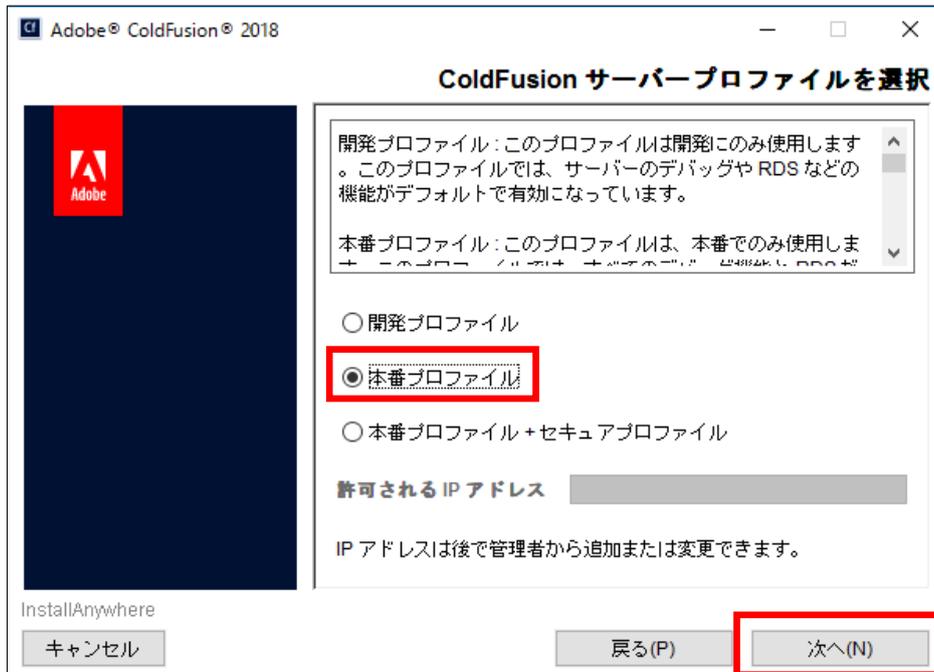
4.6. インストーラ設定

「サーバーの設定」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.7. ColdFusion サーバードプロファイルを選択

「本番プロファイル」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



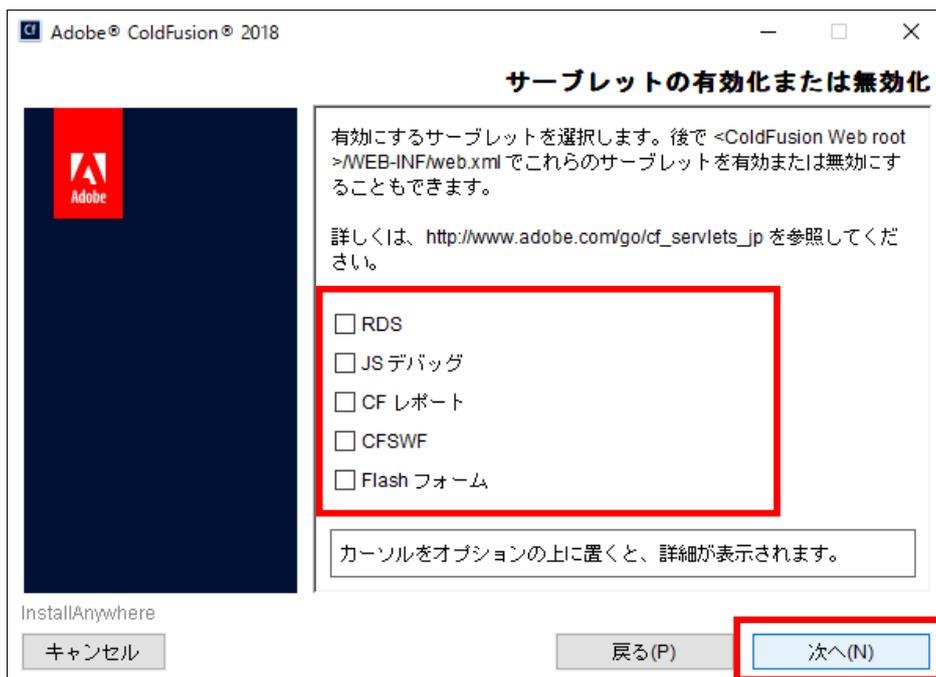
4.8. サブコンポーネントのインストール

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



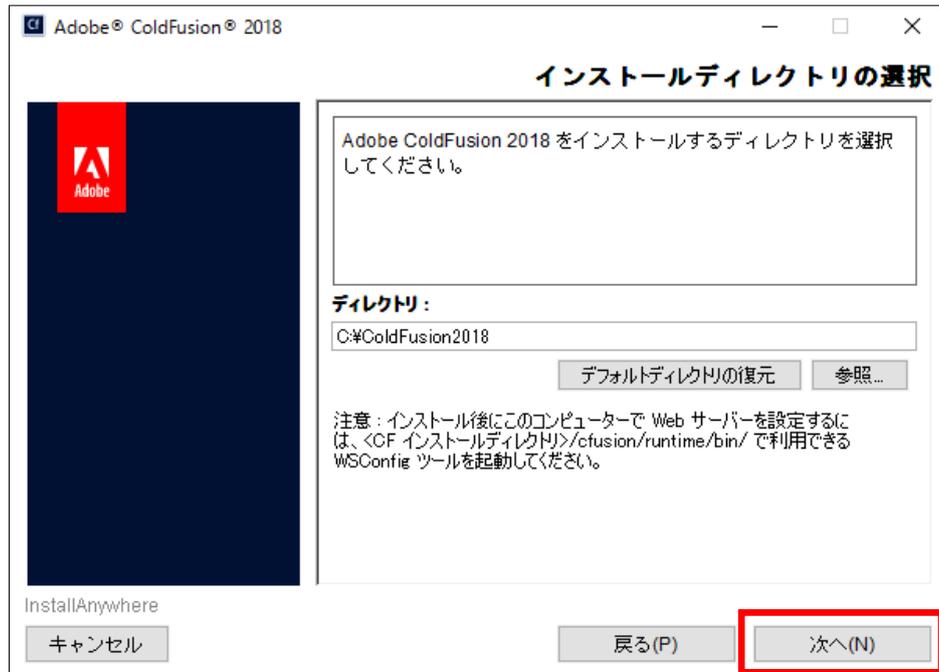
4.9. サープレットの有効化または無効化

すべてチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



4.10. インストールディレクトリの選択

「次へ」ボタンをクリックします。特別な事情でデフォルトのディレクトリ以外の場所にインストールしないといけない場合を除き、デフォルトのディレクトリにインストールされることを推奨します。



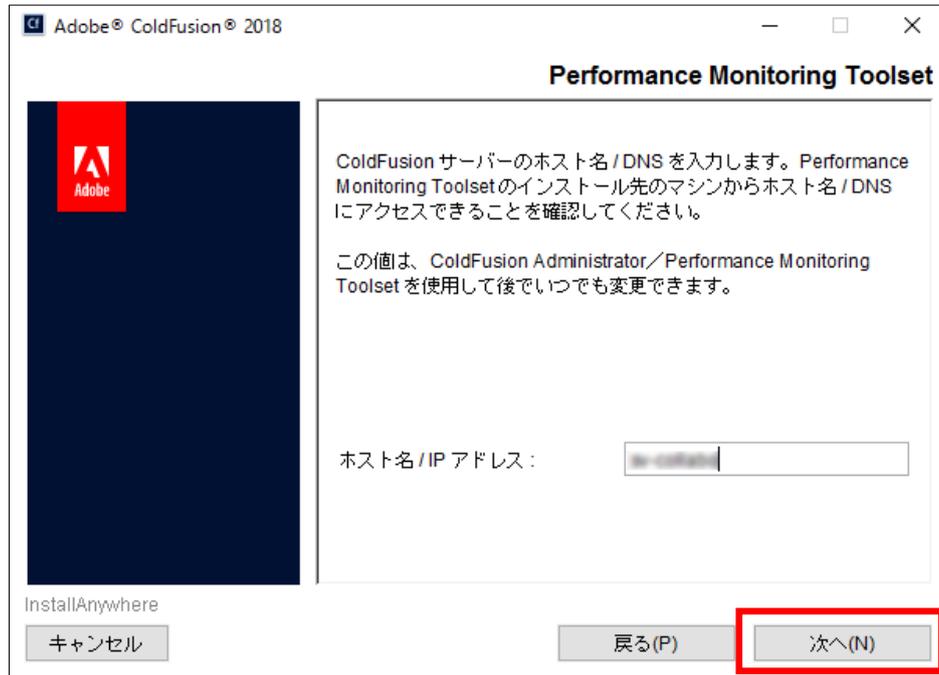
4.11. 内蔵 Web サーバーポート番号

「次へ」ボタンをクリックします。※監視システム等で既に 8500 番ポートが占有されている場合は別の番号に変更ください。



4.12. Performance Monitoring Toolset

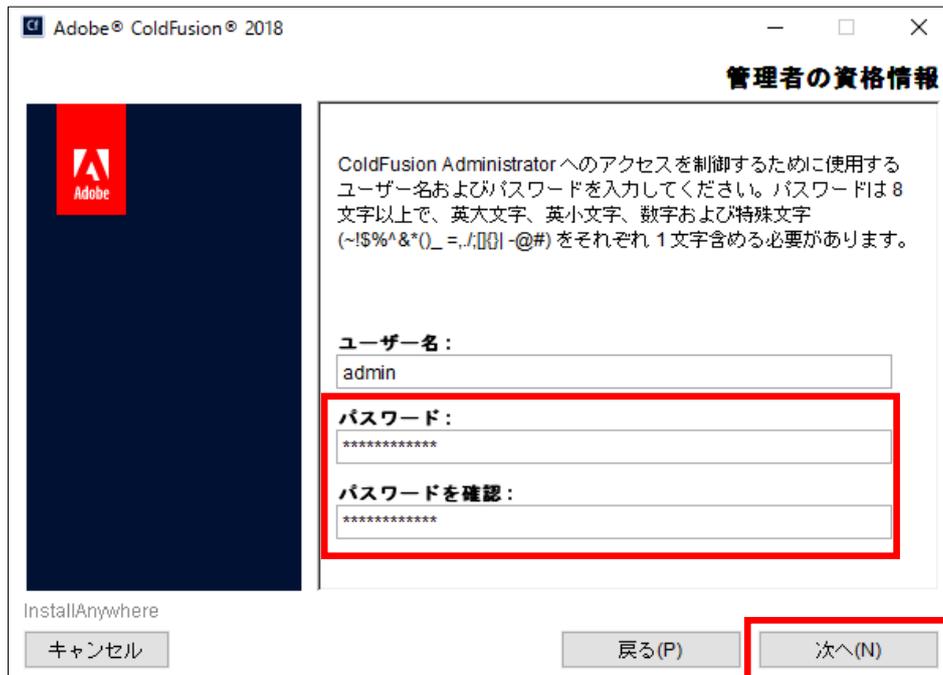
「次へ」ボタンをクリックします。



4.13. 管理者の資格情報

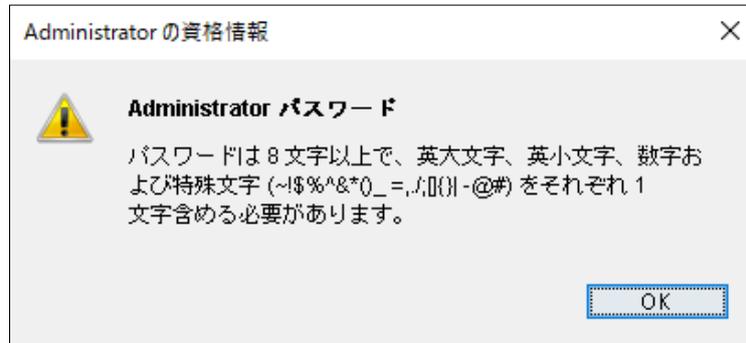
ColdFusion 管理画面にログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。

パスワード(確認用含む)を入力後、「次へ」ボタンをクリックします。



【補足】

入力したパスワードの強さが足りない場合、以下のメッセージが表示されます。

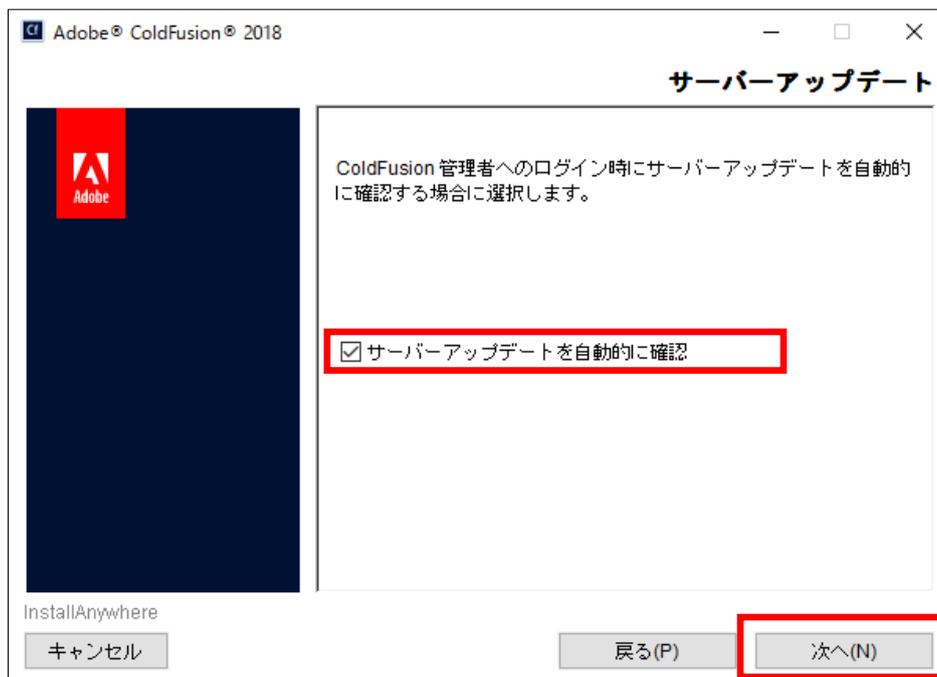


パスワードは以下の条件を全て満たす文字列を指定する必要があります。

- ・パスワードは 8 文字以上
- ・アルファベット大文字 (A~Z) を 1 つ以上含む
- ・アルファベット小文字 (a~z) を 1 つ以上含む
- ・数字 (0~9) を 1 つ以上含む
- ・特殊文字 (~!\$%^&()_=. / : [] { } | ~@#) を 1 つ以上含む

4.14. サーバーアップデート

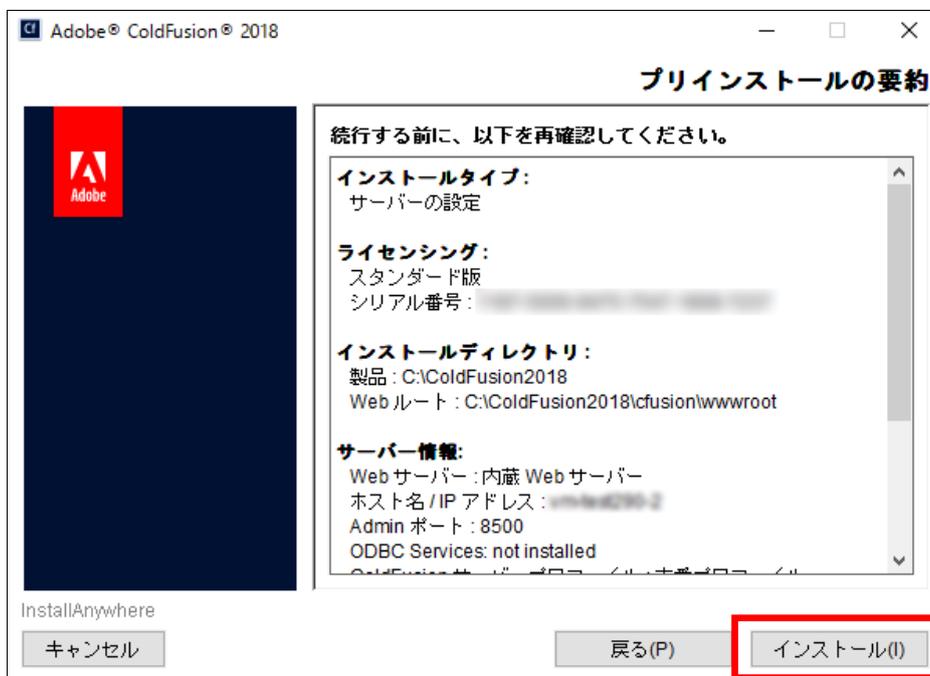
「サーバーアップデートを自動的に確認」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



4.15. プリインストールの要約

内容を確認の上、「インストール」ボタンをクリックします。

設定内容に誤りがある場合、「戻る」または「キャンセル」ボタンをクリックし、インストールを再実行してください。



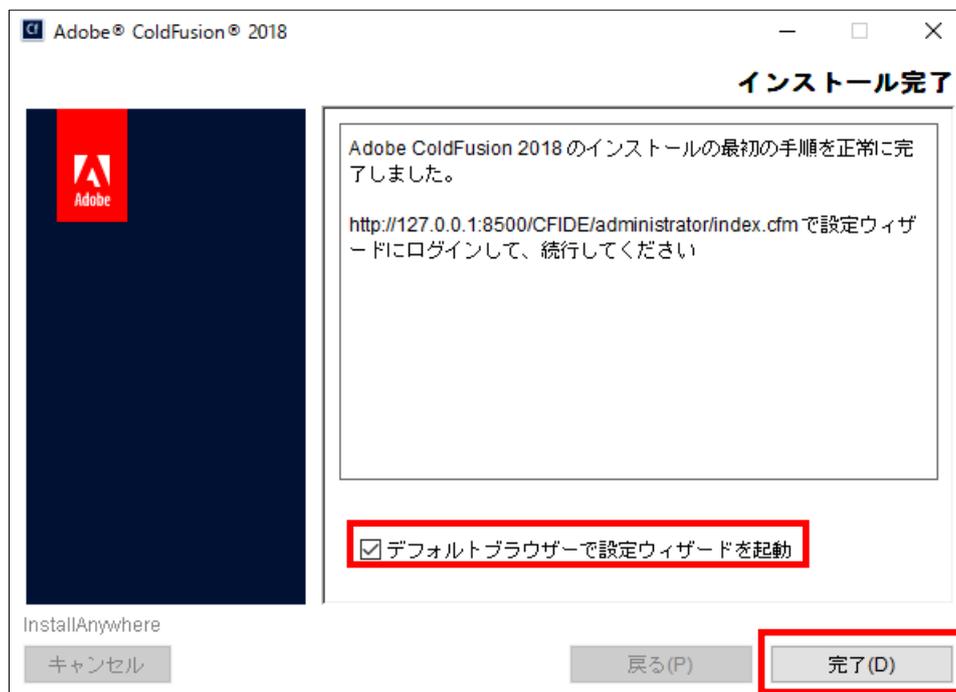
4.16. インストール進行

インストール進行画面が表示されます。



4.17. インストール完了

「デフォルトブラウザで設定ウィザードを起動」にチェックを入れて、「完了」ボタンをクリックします。



5. 設定の移行

ColdFusion のインストール完了後、「完了」ボタンをクリックすると、ColdFusion の基本的な設定を行う移行ウィザードが表示されます。

移行ウィザードは、インストール完了画面内の「デフォルトブラウザで設定ウィザードを起動」にチェックが入っている場合のみ表示されます。

チェックを入れなかった場合は、手動でブラウザを起動し、以下のアドレスにアクセスします。

<http://127.0.0.1:8500/CFIDE/administrator/>

5.1. 移行ウィザード URL を信頼済みサイトに追加 (Internet Explorer の場合のみ)

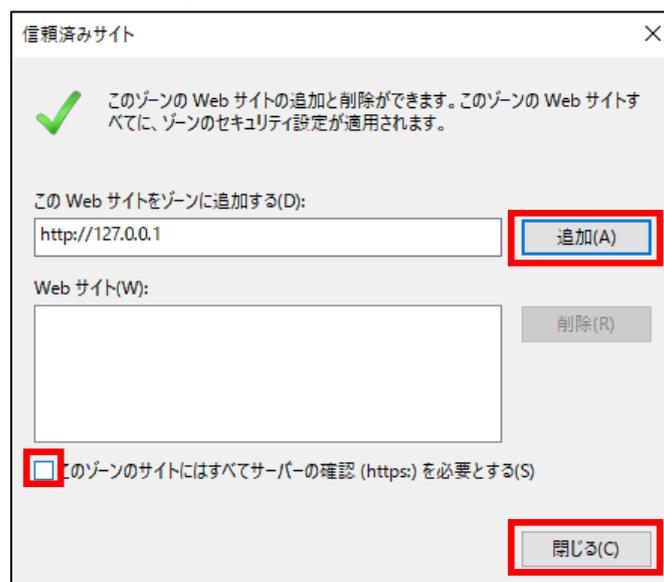
移行ウィザードを Internet Explorer で開いた場合は、移行ウィザードの URL を信頼済みサイトへ追加します。歯車アイコンから「インターネットオプション」を開き、「セキュリティ」タブを表示します。

セキュリティ設定を変更するゾーンとして「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」ボタンをクリックします。



サーバーの確認 (https:) を必要とする設定のチェックを外します。

「追加」ボタンをクリックして「http://127.0.0.1」を信頼済みサイトに追加し、設定画面を閉じます。



5.2. ログイン

ColdFusion のインストール時に指定した「admin」ユーザーのパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



5.3. サーバーの設定

移行ウィザードにログインすると、サーバーの設定が自動で行われます。



※ページが更新されない場合は、メッセージ内の「ここをクリック」をクリックしてください。

5.4. 移行ウィザード開始の確認

「次へ」ボタンをクリックします。



5.5. エクスポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。



5.6. インポート設定

「次へ」ボタンをクリックします。

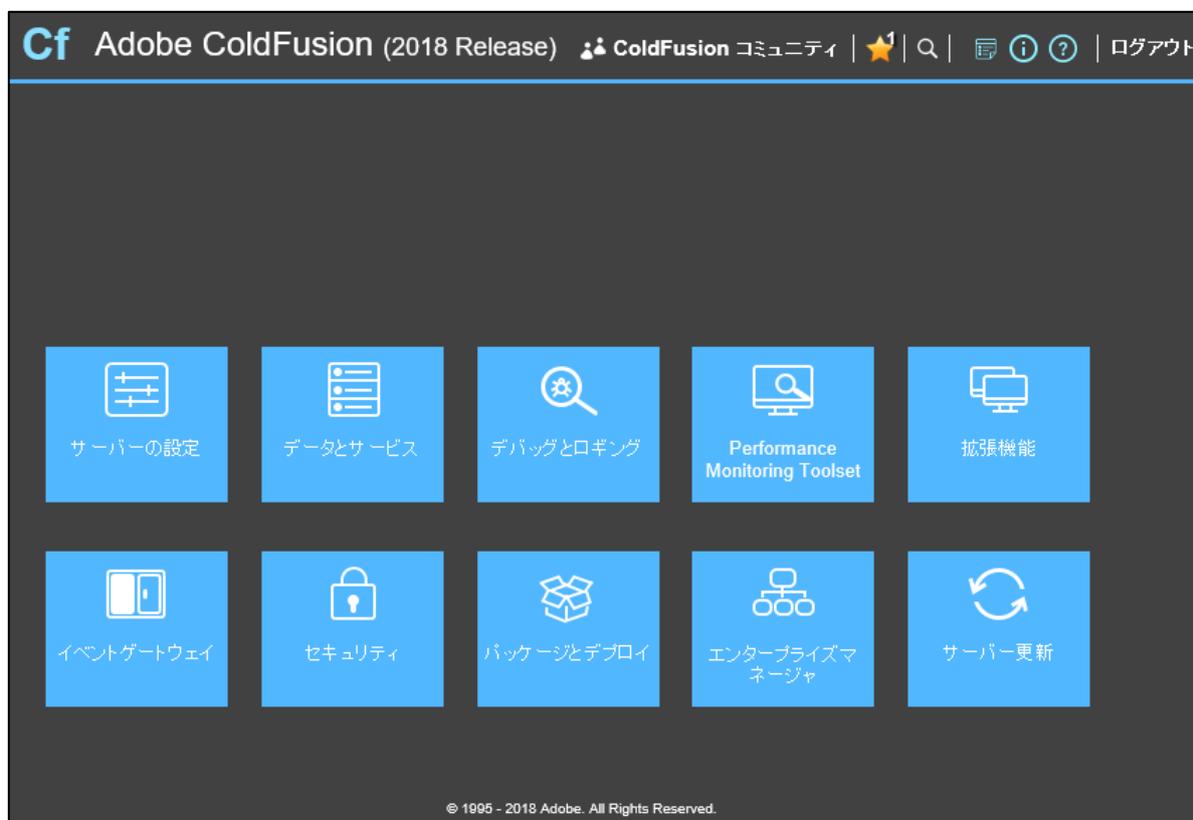


5.7. 移行ウィザード完了

設定の移行が完了しました。「OK」ボタンをクリックします。



ColdFusion 管理画面が表示されます。



5.8. 追加の手動設定

以下の項目について設定を行います。

サーバーの設定 > 設定

「サーバーの設定」画面を表示し、「設定」をクリックします。

「リクエストタイムアウト」にチェックを入れ、「60」を入力します。
※コラボフローの設定値は 60 秒ですが、必要に応じて変更できます。

アプリケーションごとの設定の有効化にチェックを入れます。



画面を下にスクロールし、「送信データの最大サイズ」に「20」を入力します。

※ファイルのアップロードに関係します。詳細は下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/204727075>

「変更の送信」をクリックします。



サーバーの設定 > メール

「サーバーの設定」画面を表示し、「メール」をクリックします。

メールロギングの設定の「エラーログの厳格度」で「警告」を選択し、「ColdFusion から送信される メールメッセージをすべてロギング」のチェックを外します。

※厳格度を「情報」、ロギングのチェックを ON にする事でメールの送信状況を確認できるようになります。

「変更の送信」をクリックします。



The screenshot shows the 'Server Settings' page with the 'Email' tab selected. The 'Error Log Severity' is set to 'Warning'. The 'Log all email messages sent from ColdFusion' checkbox is unchecked. The 'Change and Send' button is highlighted.

サーバーの設定 > Java と JVM

本書「はじめに」で用意した「JVM パラメーター」の値を再設定します。

- ① 「サーバーの設定」画面を表示し、「Java と JVM」をクリックします。
- ② 「最小 JVM ヒープサイズ」に最小 JVM ヒープサイズ値を入力します。
- ③ 「最大 JVM ヒープサイズ」に最大 JVM ヒープサイズ値を入力します。
- ④ 「JVM 引数」の MaxMetaspaceSize に、値を設定します。
-XX:MaxMetaspaceSize=256m
※MaxMetaspaceSize の詳細は、下記コラボフローサポートサイトの記事を参照ください。
<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360000697755>
- ⑤ 「JVM 引数」にロケールパラメーターが含まれていない場合は、以下の指定を追加します。
-Duser.language=ja
- ⑥ 「変更の送信」をクリックします。

サーバーの設定

設定 リクエストの調整 キャッシュ機能 クライアント変数 メモリ変数 マッピング メール スケジュールされたタスク WebSocket チャート フォント管理 ドキュメント **JavaとJVM**

変更の送信

Java 仮想マシンのパス

Java 仮想マシン (JVM) の位置を指定します。

最小 JVM ヒープサイズ (MB) 2048 最大 JVM ヒープサイズ (MB) 2048

メモリサイズ設定により、JVM がプログラムとデータ列に使用するメモリ量が決まります。

ColdFusion クラスパス

JVM 用の追加クラスパスを指定します。複数のディレクトリを指定する場合はカンマで区切ります。

JVM 引数

```
-server --add-opens=java.rmi/sun.rmi.transport=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.nio=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/java.lang=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/sun.util.cldr=ALL-UNNAMED --add-opens=java.base/sun.util.locale.provider=ALL-UNNAMED -XX:MaxMetaspaceSize=192m -XX:+UseParallelGC -Xbatch -Djdk.attach.allowAttachSelf=true -Dcoldfusion.home={application.home} -Duser.language=ja -Dcoldfusion.rootDir={application.home}
```

特定の JVM 初期化オプションを、スペースで区切って指定します。

セキュリティ>セキュアプロファイル

「セキュリティ」画面を表示し、「セキュアプロファイル」をクリックします。

「セキュアプロファイルを有効にする」のチェックを外し、「変更の送信」をクリックします。

セキュリティ

Administrator RDS サンドボックスセキュリティ ユーザーマネージャ 使用できる IP アドレス **セキュアプロファイル**

変更の送信

セキュアプロファイルを有効にする

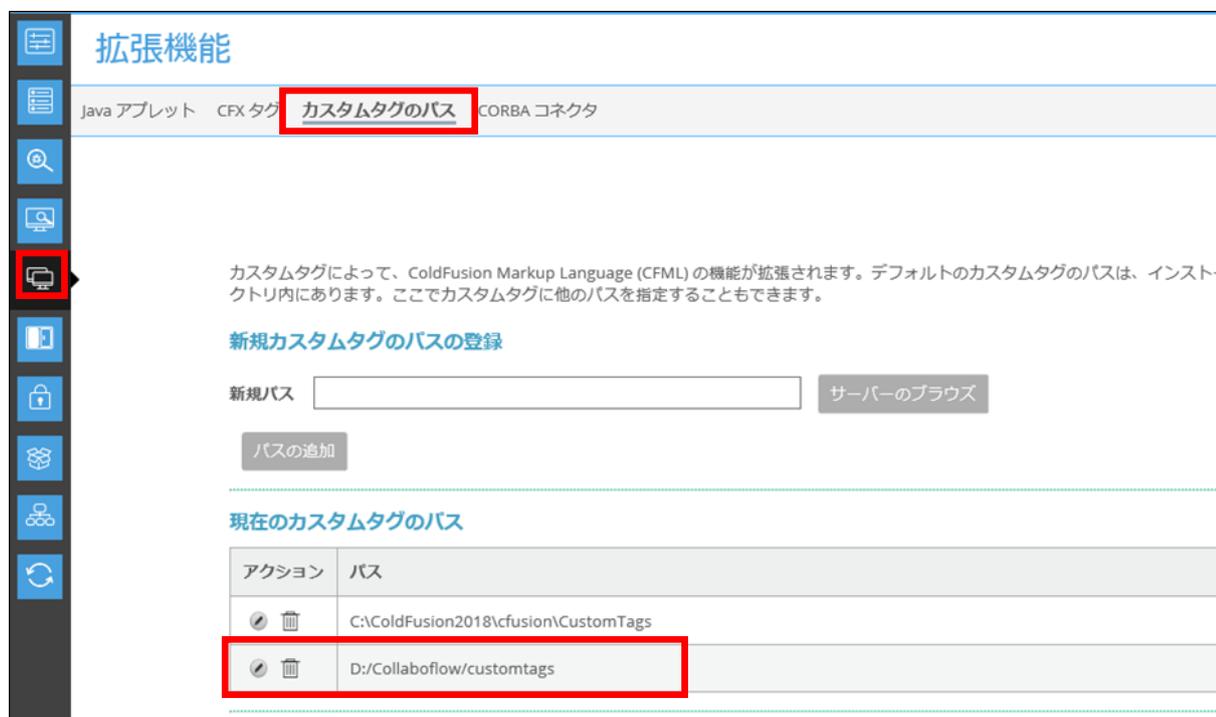
セキュアプロファイル設定は 1 つの推奨事項にすぎません。要件に応じて、サーバーをさらに詳細に設定する必要があります。この影響を受ける設定

セキュアプロファイル設定の要約

設定名	現在の値	セキュアのデフォルト値
セキュアプロファイルの有効化	無効	有効

5.9. カスタムタグの移行確認

「拡張機能」画面を表示し、「カスタムタグのパス」をクリックします。
 現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されているか確認します。



拡張機能

Java アプレット CFX タグ **カスタムタグのパス** CORBA コネクタ

カスタムタグによって、ColdFusion Markup Language (CFML) の機能が拡張されます。デフォルトのカスタムタグのパスは、インストール内にあります。ここでカスタムタグに他のパスを指定することもできます。

新規カスタムタグのパスの登録

新規パス

現在のカスタムタグのパス

アクション	パス
 	C:\ColdFusion2018\cfusion\CustomTags
 	D:/Collaboflow/customtags

現在のカスタムタグのパスにコラボフローのパスが表示されていない場合、
 新規パスに「{コラボフローインストールフォルダ}¥customtags」を入力し、パスの追加をクリックします。



新規カスタムタグのパスの登録

新規パス

現在のカスタムタグのパス

アクション	パス
 	C:\ColdFusion2018\cfusion\CustomTags

6. ColdFusion 脆弱性対策の確認

脆弱性対策として、ColdFusion のアップデート以外に ColdFusion 用の Java を変更するなどの対応が必要になる場合があります。

脆弱性対策については、コラボフローサポートサイトで情報を公開していますので、ColdFusion のアップデート適用前にご確認ください。

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/sections/360000053795>

7. ColdFusion 2018 のアップデート

ColdFusion のアップデート適用前にコラボフローサポートサイトを参照し、適用するアップデートをご確認ください。

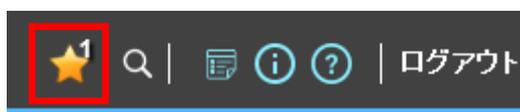
<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/360001286355>

ColdFusion のインストールを行った環境がオンラインであれば、ColdFusion 管理画面よりアップデートを実行することができます。

※インターネット接続が無い環境で ColdFusion 2018 をインストールした場合はオンラインアップデートができません。トラブルシューティングを参照して追加の手順をご確認ください。

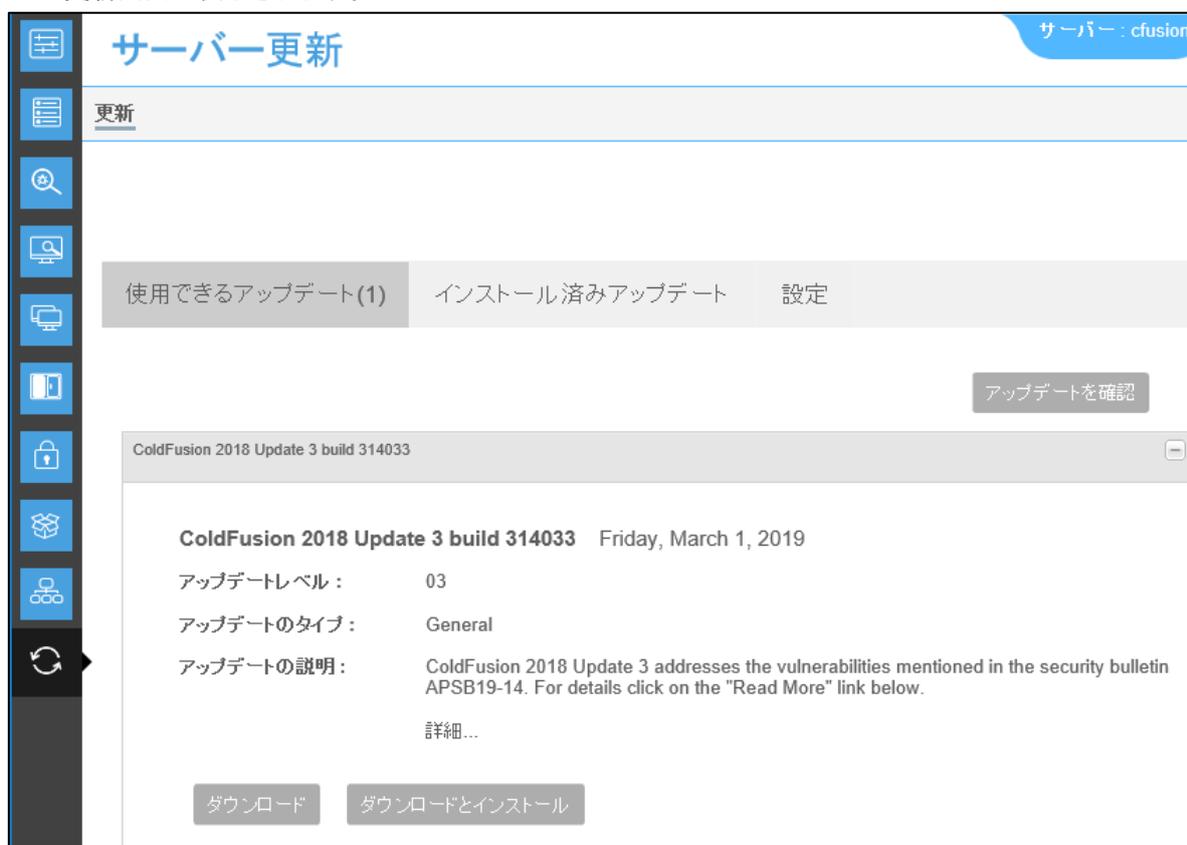
7.1. サーバー更新画面の表示

ColdFusion 管理画面のヘッダー部分に表示された以下のアイコンをクリックすると、サーバー更新画面に遷移します。



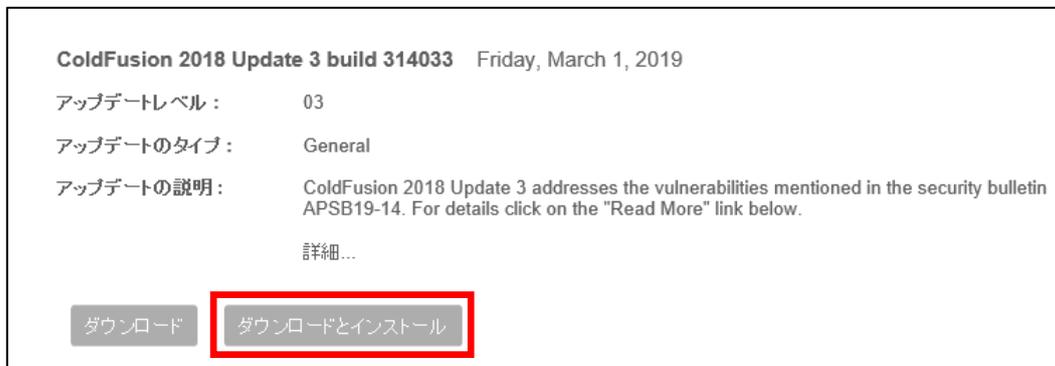
※ColdFusion 管理画面の左側に表示された「サーバー更新」メニューを選択しても、同様の画面に遷移します。

サーバー更新画面が表示されます。

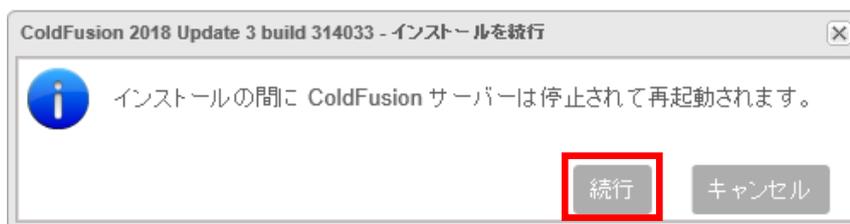


7.2. ColdFusion のアップデート

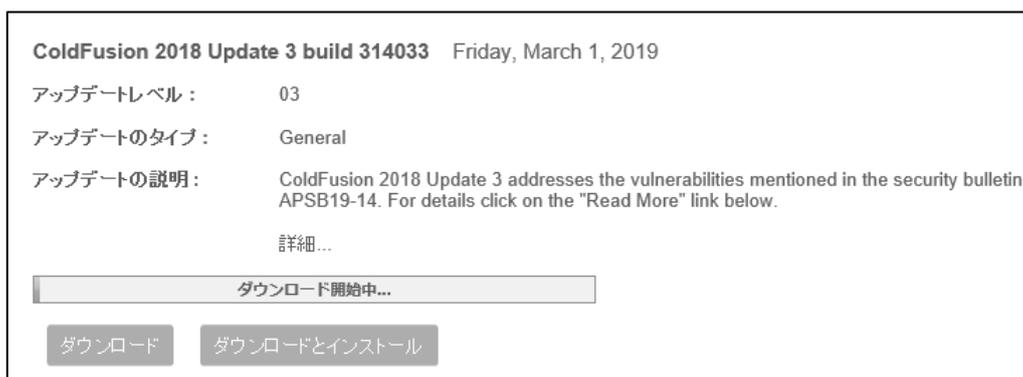
「ダウンロードとインストール」のボタンをクリックし、ColdFusion のアップデートを行います。



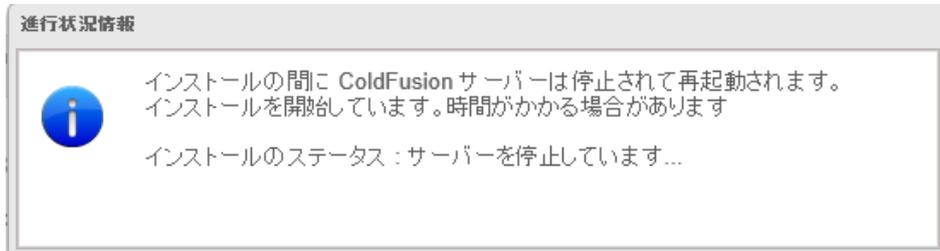
インストールの続行確認が表示されます。「続行」ボタンをクリックします。



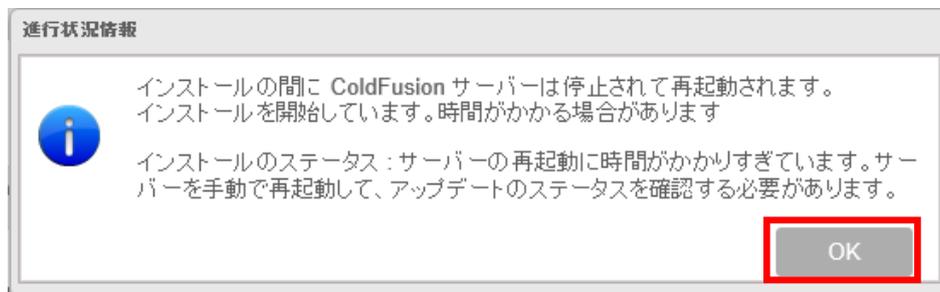
インストールファイルのダウンロードが実行されます。



ダウンロードが完了すると、インストールの進行状況が表示されます。



インストールが完了すると、再起動の確認画面が表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。



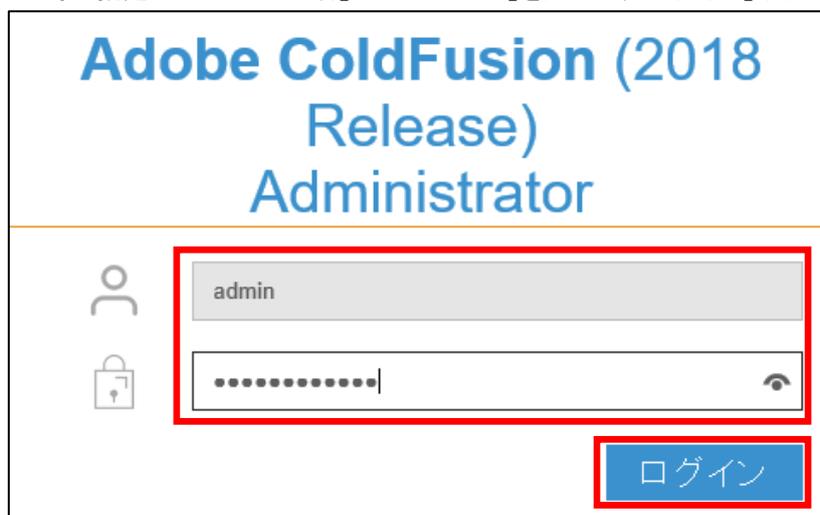
7.3. ColdFusion のアップデートの完了確認

画面上部の「ログアウト」をクリックします。



ログイン画面が表示されます。

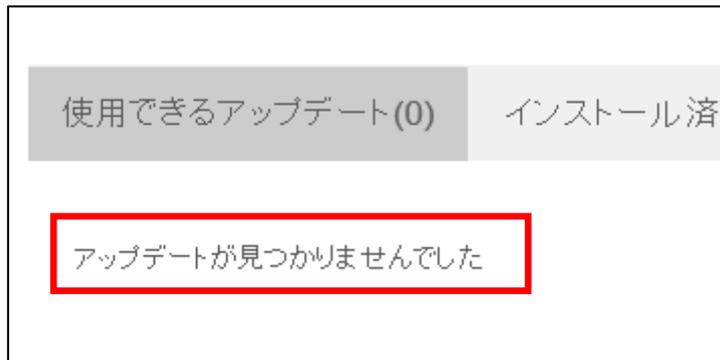
ColdFusion インストール時に指定した「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



「サーバー更新」画面を表示し、「使用できるアップデート」の「アップデートを確認」ボタンをクリックします。



確認後、更新するアップデートが見つからないメッセージが表示される事を確認します。

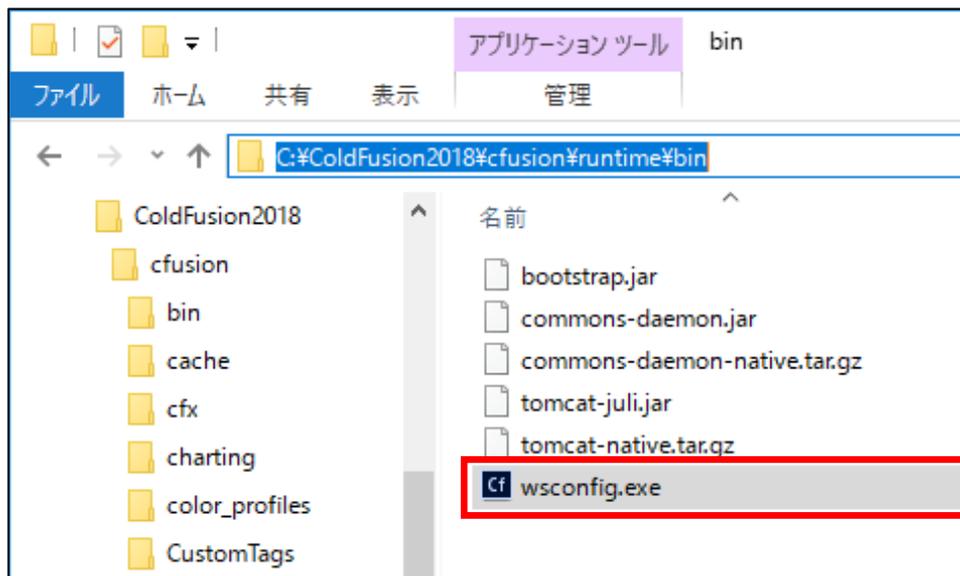


8. ColdFusion と Web サーバーの接続設定

8.1. Web サーバー設定ツールの起動

ColdFusion で使用する Web サーバー (IIS) の接続設定を行います。

「{ColdFusion インストールルート}\¥ColdFusion2018¥cfusion¥runtime¥bin¥wsconfig.exe」をダブルクリックして、設定ツールを起動します。

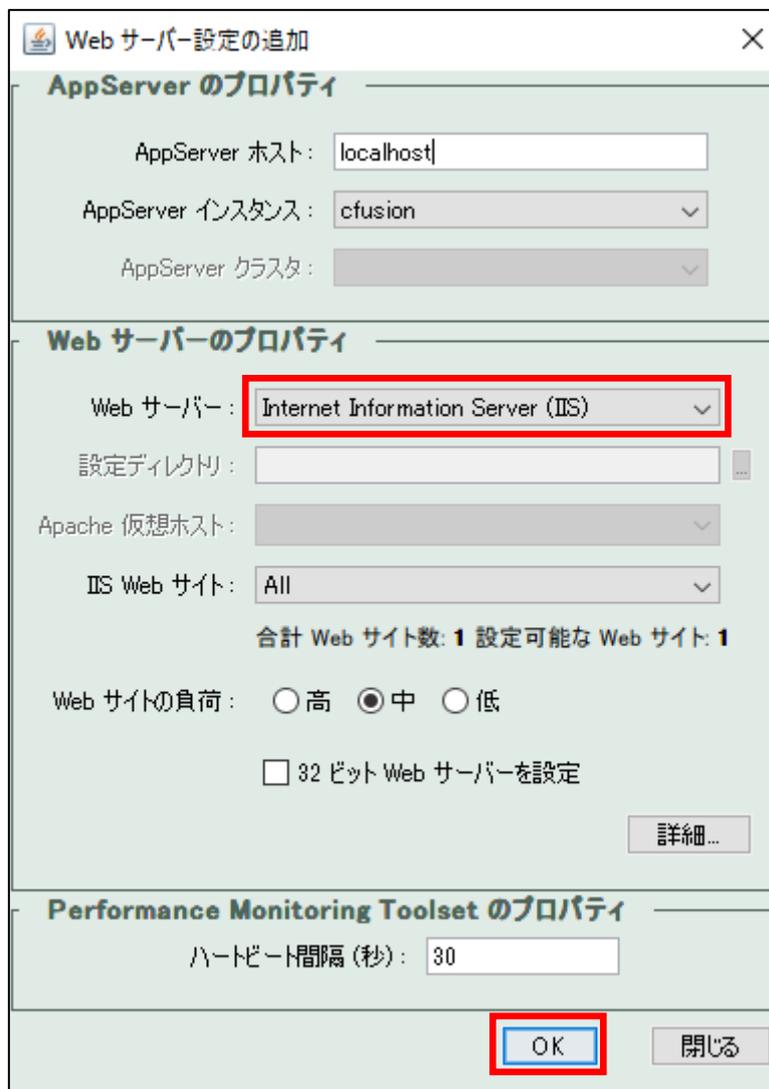


設定ツールの画面表示後、「追加」ボタンをクリックします。

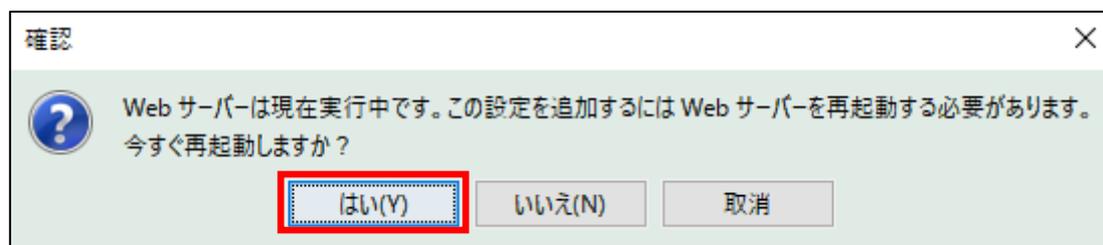


8.2. Web サーバー設定の追加

Web サーバーに「Internet Information Services (IIS)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



Web サーバー (IIS) を再起動する確認ダイアログが表示されたら、「はい」ボタンをクリックします。



8.3. Web サーバー設定の終了

設定ツールの「設定済みの Web サーバー」一覧に「Internet Information Services (IIS)」が追加されたら、「終了」ボタンをクリックして画面を閉じます。



8.4. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザを起動し、コラボフローにアクセスします。
コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

コラボフローのログイン画面が表示されない場合、トラブルシューティング「ColdFusion 2018 インストール後からコラボフローが表示されない」を参照ください。

9. ColdFusion 2016 の削除

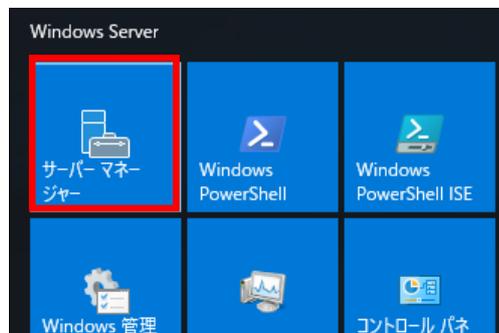
コラボフローへのアクセスを確認後、ColdFusion2016 の削除を行います。

9.1. ColdFusion 2018 サービスの停止

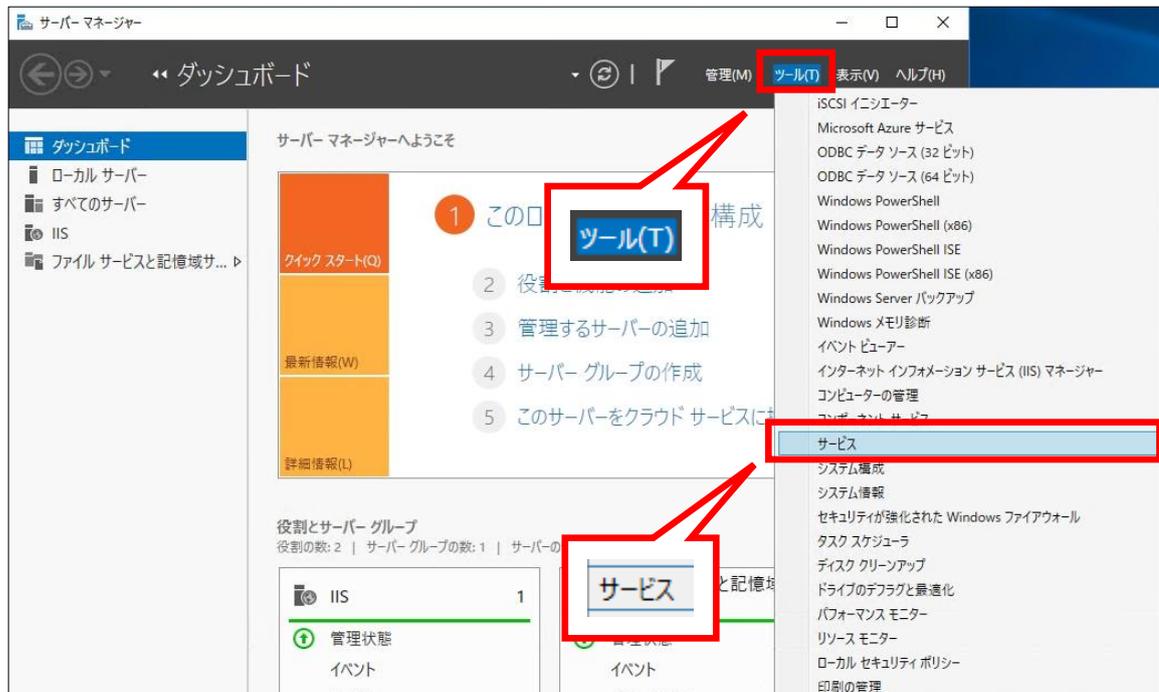
Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。



サーバーマネージャーをクリックします。



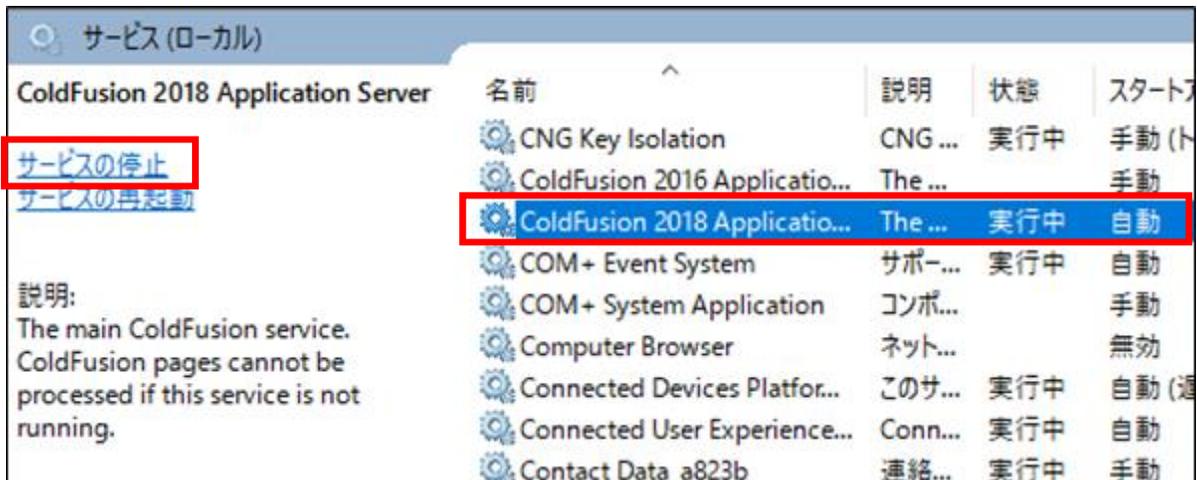
サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。



サービスの一覧が表示されます。

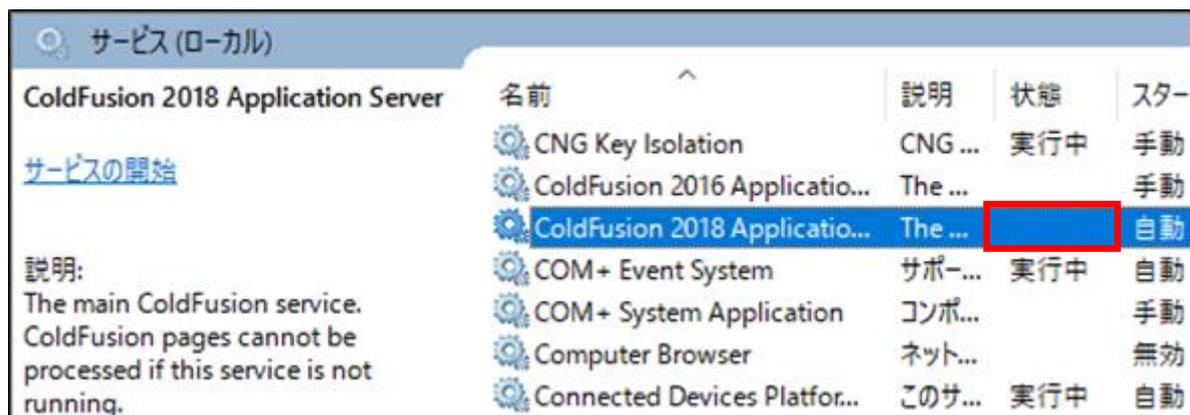
サービスの一覧から「ColdFusion 2018 Application Server」を選択します。

「サービスの停止」をクリックします。



「ColdFusion 2018 Application Server」サービスが停止されます。

「状態」が空欄となっており、停止状態である事を確認します。



9.2. ColdFusion 2016 一時フォルダの削除

C:\ColdFusion2016\cfusion\runtime\work\Catalina フォルダを削除します。

※ご利用状況によりファイル数やサイズが多く、削除に時間が掛かる場合があります。

9.3. プログラムのアンインストール

コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」を選択します。

※「プログラム > プログラムと機能」からも開けます。

「Adobe ColdFusion 2016」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

プログラムのアンインストールまたは変更

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。

整理 ▾ **アンインストールと変更**

名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン
 Adobe ColdFusion 2016	Adobe Systems, Inc.	2019/05/20	1.19 GB	2016.0.0.3
 Adobe ColdFusion 2018	Adobe Systems, Inc.	2019/05/20	786 MB	2018.0.0.2
 Citrix XenServer Tools Installer	Citrix	2018/02/08	816 KB	6.5.163
 Citrix XenServer Windows Management Agent	Citrix	2018/12/12	18.7 MB	7.1.1119
 Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	20.5 MB	11.0.61030.0
 Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86) - 11.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	17.3 MB	11.0.61030.0
 Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) - 12.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	20.5 MB	12.0.40660.0
 Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0...	Microsoft Corporation	2019/01/17		12.0.21005.1
 Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	17.1 MB	12.0.40660.0
 Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.1...	Microsoft Corporation	2019/05/20	23.2 MB	14.14.26405.0
 Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) - 14.1...	Microsoft Corporation	2019/05/20	20.4 MB	14.14.26405.0
 Office Server Document Converter V7.0	Antenna House	2019/05/17	113 MB	7.0
 pgAgent 3.4.0	EnterpriseDB	2019/02/12	11.4 MB	3.4.0-3
 PostgreSQL 10	PostgreSQL Global Developmen...	2018/12/13	389 MB	10

補足： アンインストールと変更をクリックしても反応が無いように見える時は…

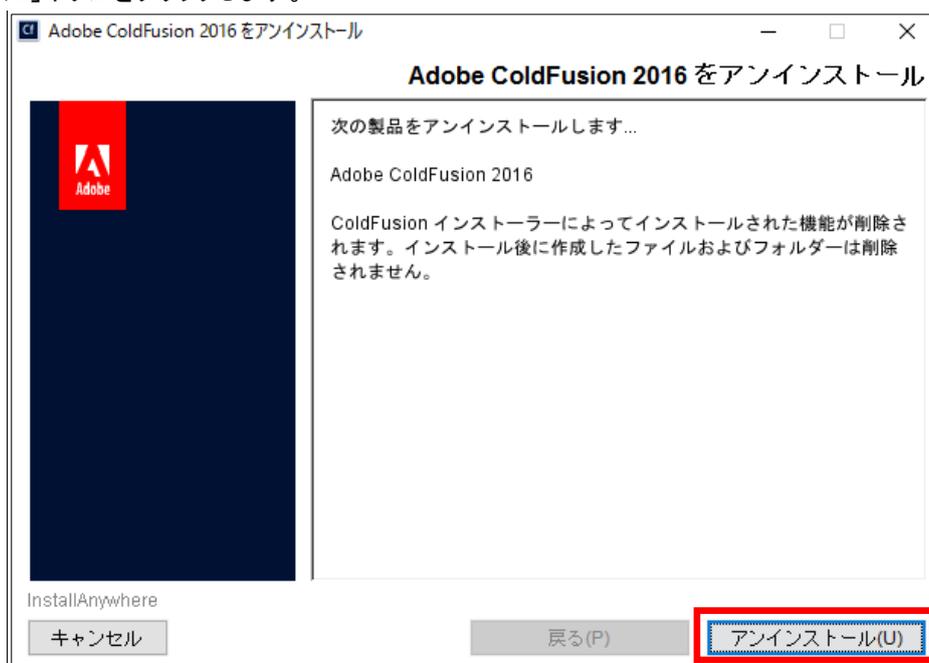
お使いのサーバー環境によっては、次の手順以降にあるようなアンインストールの確認や処理中の画面が表示されずに、画面非表示の状態ですぐにアンインストールが開始される場合があります。

(例：ColdFusion 2016 をインストールした際にサイレントインストールをしていた等が該当します。)

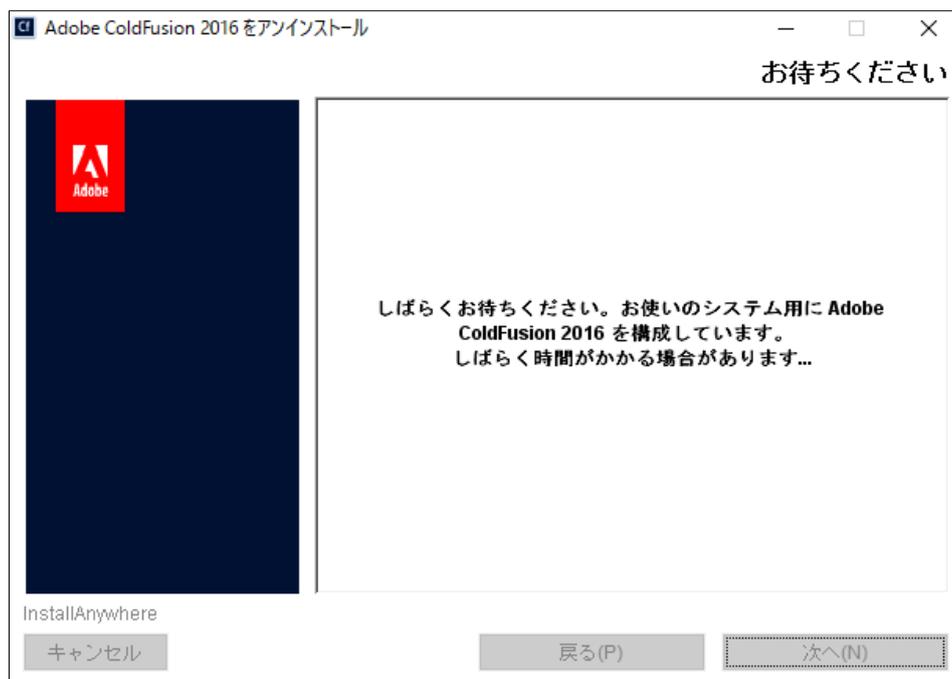
しばらく時間(10 分程)をおいてから再度「プログラムと機能」を開きなおい、「アンインストール完了の確認」の手順にお進みください。

9.4. ColdFusion 2016 のアンインストール

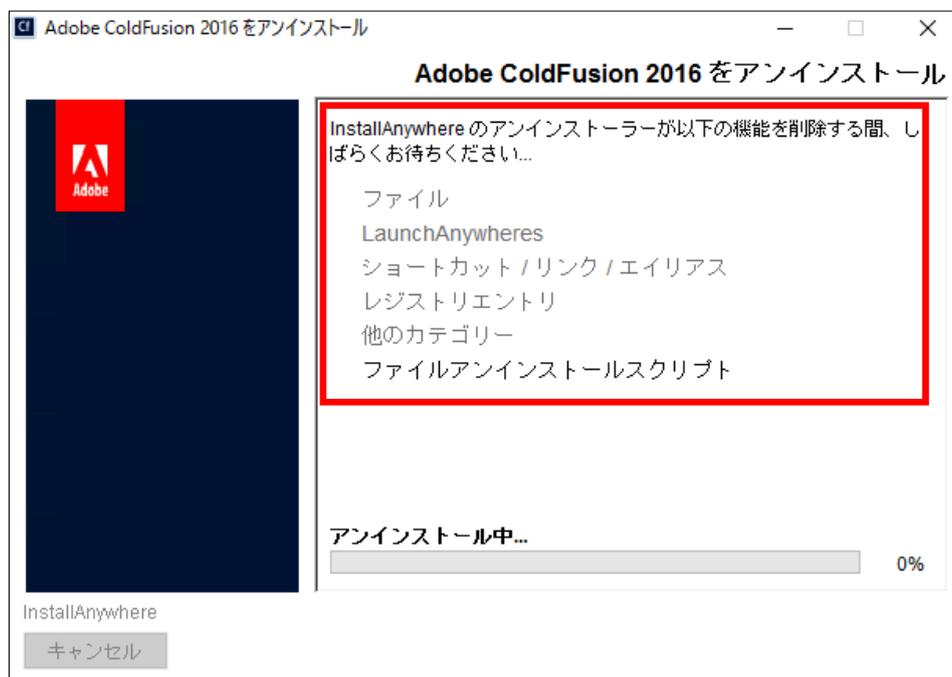
「アンインストール」ボタンをクリックします。



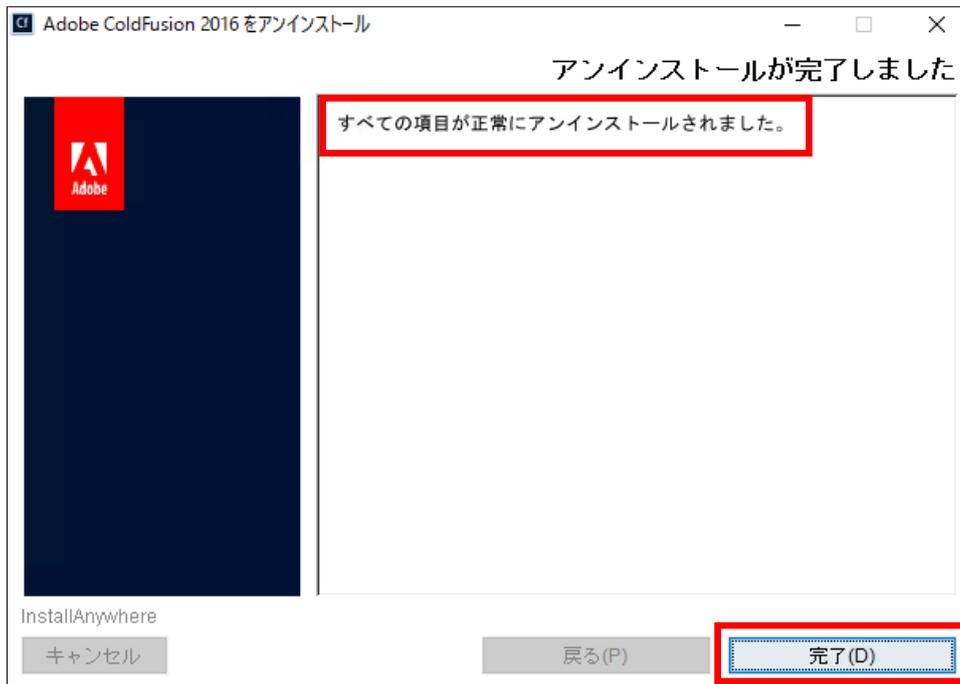
アンインストールの処理が開始されます。



機能の削除処理が実行されます。



アンインストール後、「完了」ボタンをクリックします。



9.5. アンインストール完了の確認

再度コントロールパネルを開き、プログラムと機能の一覧から「Adobe ColdFusion 2016」の項目が消えていることを確認します。

プログラムのアンインストールまたは変更

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。

名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン
Adobe ColdFusion 2018	Adobe Systems, Inc.	2019/05/20	786 MB	2018.0.0.2
Citrix XenServer Tools Installer	Citrix	2018/02/08	816 KB	6.5.163
Citrix XenServer Windows Management Agent	Citrix	2018/12/12	18.7 MB	7.1.1119
Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	20.5 MB	11.0.61030.0
Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86) - 11.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	17.3 MB	11.0.61030.0
Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) - 12.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	20.5 MB	12.0.40660.0
Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0...	Microsoft Corporation	2019/01/17	12.0.21005.1	
Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0...	Microsoft Corporation	2018/12/12	17.1 MB	12.0.40660.0
Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.1...	Microsoft Corporation	2019/05/20	23.2 MB	14.14.26405.0
Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) - 14.1...	Microsoft Corporation	2019/05/20	20.4 MB	14.14.26405.0
Office Server Document Converter V7.0	Antenna House	2019/05/17	113 MB	7.0

9.6. ColdFusion 2016 フォルダの削除

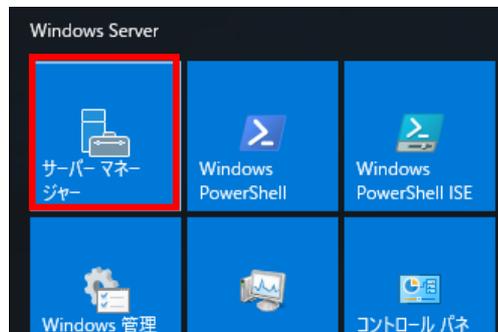
C:\ColdFusion2016 フォルダを削除します。

9.7. ColdFusion 2018 サービスの起動

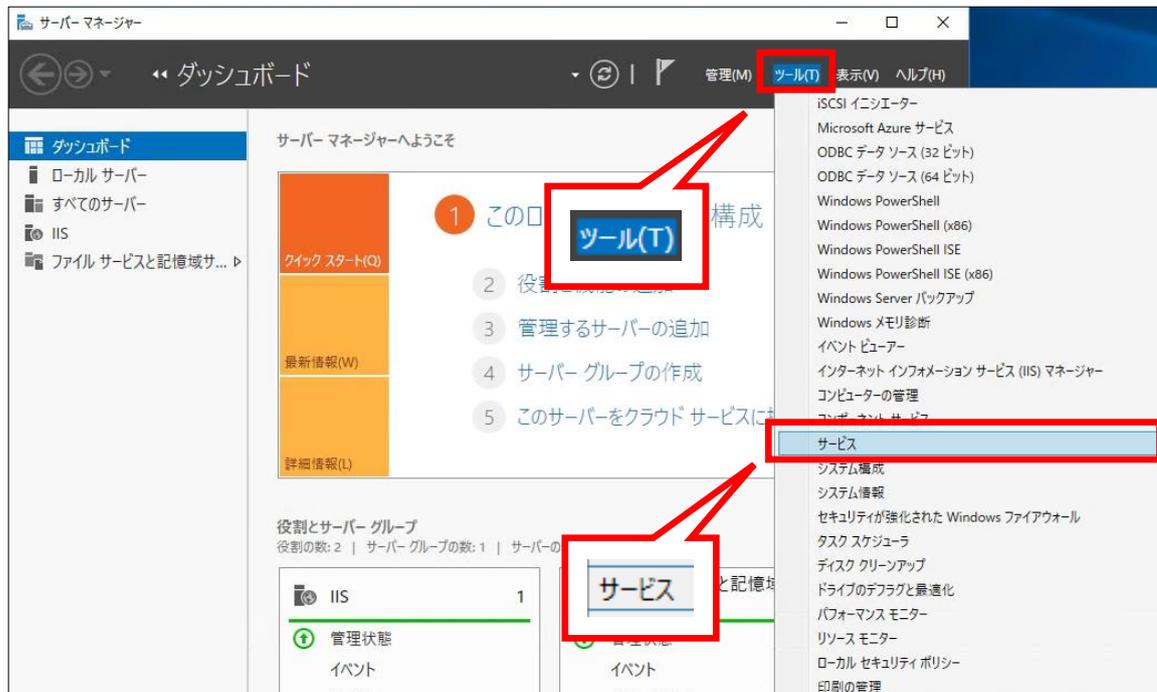
Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。



サーバーマネージャーをクリックします。

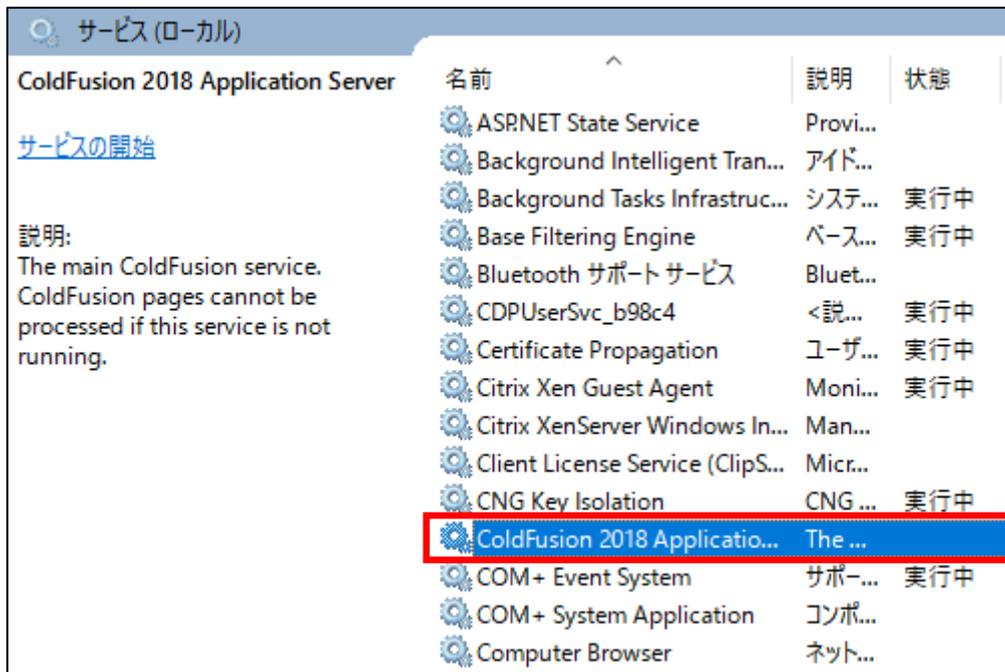


サーバーマネージャーのツールをクリックし、メニューから「サービス」をクリックします。



サービスの一覧が表示されます。

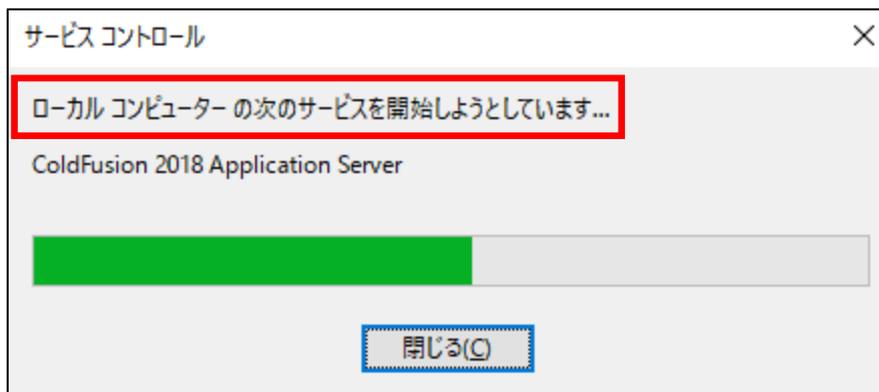
サービスの一覧から「ColdFusion 2018 Application Server」を選択します。



「サービスの開始」をクリックします。

サービスが起動されます。

開始後に、サービスの状態が「実行中」となるかを確認します。



9.8. コラボフローへのアクセス確認

ブラウザを起動し、コラボフローにアクセスします。

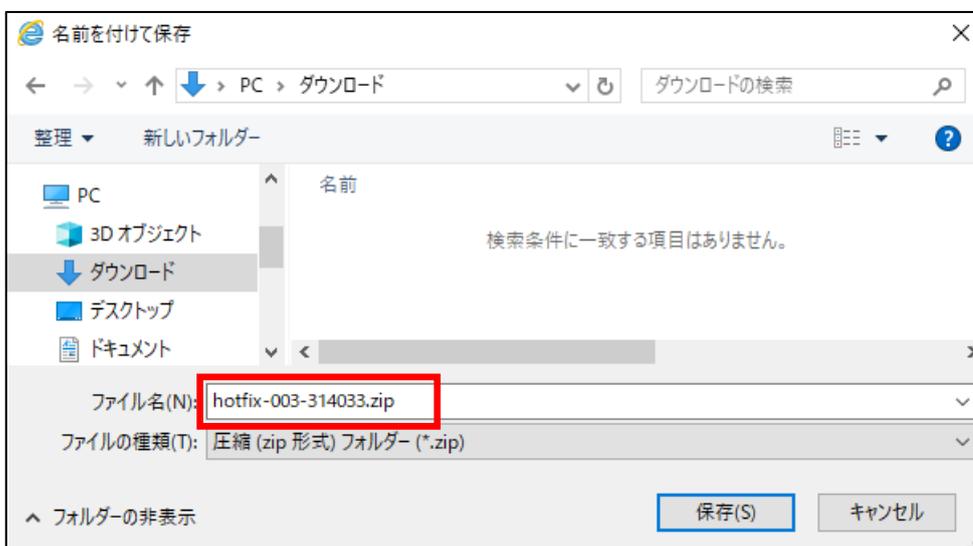
コラボフローのログイン画面が表示される事を確認します。

10. トラブルシューティング

10.1. ColdFusion のアップデートがオンラインで実行できない場合

以下の手順でオフラインアップデートができます。

- ① 事前にインターネットに接続できる端末で以下のダウンロードサイトにアクセスします。
<https://helpx.adobe.com/jp/coldfusion/kb/coldfusion-2018-updates.html>
- ② ファイルリンクを右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。
- ③ 名前をつけて保存ダイアログが表示されるので、任意の場所に一旦保存します。
※ファイル名の最後が「.zip」となっている場合は「.jar」に変更してから保存します。



- ④ 保存した JAR ファイルをサーバーにコピーします。
この手順では Web サーバー内に C:\tmp フォルダを作成し、ここにコピーしたとして進めます。
- ⑤ Windows タスクバーから、「スタート」をクリックします。
- ⑥ Windows システムツールを展開し、コマンドプロンプトをクリックします。
- ⑦ 以下のコマンドを 1 行で入力して、Enter キーを押します。

```
"C:¥ColdFusion2018¥jre¥bin¥java.exe" -jar "C:¥tmp¥hotfix-003-314033.jar"
```



- ⑧ 「OK」や「次へ」をクリックして、アップデートを進めます。

10.2. プロキシサーバーを経由する必要がある場合

コラボフロー サポートサイトの下記記事を参照ください。

Web プロキシサーバーがある環境下で ColdFusion の更新を行う方法

<https://collaboflow.zendesk.com/hc/ja/articles/333757005396>

10.3. ColdFusion 2018 インストール後からコラボフローが表示されない

サービスの起動が競合している場合があります。サービスの一覧で以下を確認してください。

- ・「ColdFusion 2018」から始まるサービスが起動していること。
- ・「ColdFusion 2016」から始まるサービスが停止していること。

改訂履歷

初版 …… 2019 年 5 月
第2版 …… 2019 年 12 月
第3版 …… 2020 年 2 月
第4版 …… 2020 年 7 月
第5版 …… 2023 年 12 月